

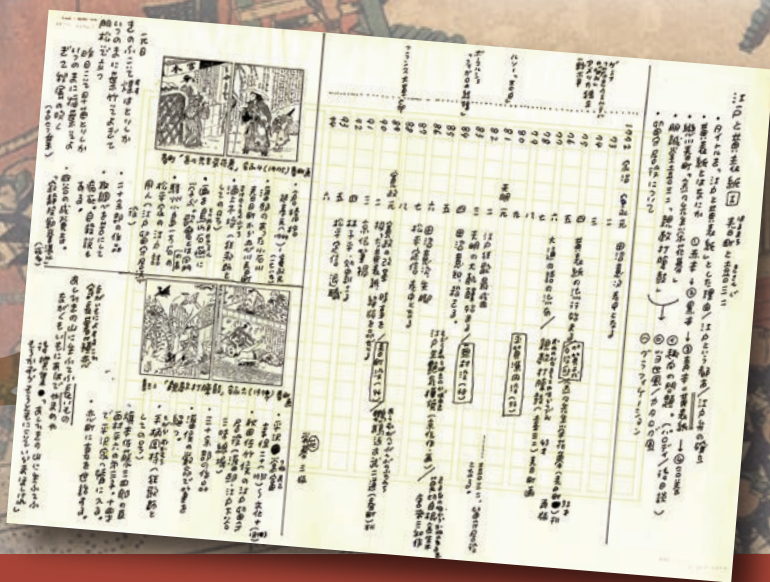
横書き  
印



# 江戸の井上ひさし

井上ひさし資料特集展

vol. 5



撮影：佐々木隆二

2016年2月6日(土) — 4月10日(日)

場 所：仙台文学館企画展示室 休 館 日：月曜日(休日の場合は開館)、休日の翌日、第4木曜日

開館時間：午前9時～午後5時(入館は午後4時30分まで)

観 覧 料：一般500円／高校生200円／小・中学生100円(30名以上の団体は各2割引)

使用図版：「江戸と黄表紙」講演資料(仙台文学館蔵)、「平賀源内肖像(木村黙老『戯作者考補遺』明治写)」(慶應義塾図書館蔵)、「北斎仮名手本忠臣蔵 十一段目」(国立国会図書館蔵)、「東都名所 駿河町之図」(国立国会図書館蔵)

主催：仙台文学館 協力：井上事務所、こまつ座、遅筆堂文庫



(公財)仙台市民文化事業団

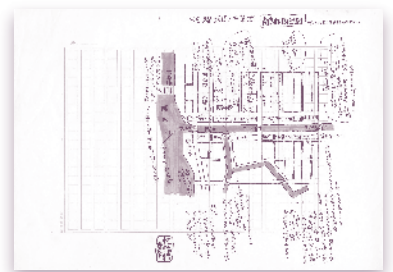
仙台文学館

〒981-0902 仙台市青葉区北根2-7-1  
TEL.022-271-3020 FAX.022-271-3044

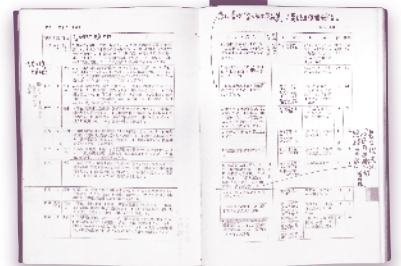
<http://www.sendai-lit.jp>

井上ひさしが遺した作品のなかには、江戸時代を舞台にして書かれた小説・戯曲が数多くあります。直木賞受賞作『手鎖心中』をはじめとして、吉良邸騒入りという“義拳”に加わらなかった赤穂浪人たちを描いた『不忠臣蔵』。五十六歳から測量を始め、精密な日本地図を作りあげた伊能忠敬の生活が克明に描かれた『四千万歩の男』。おかしも悲惨な目に遭いながら、波乱万丈の道中を歩く若旦那と太鼓もちを描いた戯曲『たいことん』。家庭に問題を抱え、“駆け込み寺”へ逃げ込まざるを得なかった女性たちを描いた『東慶寺花だより』……。二六〇年にもおよんだ江戸のさまざまな人物を描き続けた井上ですが、その原点は大学進学のため上京したものの、自信を喪失し、釜石に住む母のもとへ身を寄せていた時期に出会った、江戸時代の戯作『黄表紙』にありました。

本展では、江戸を舞台に書かれた作品の原稿、プロット、創作メモなどの肉筆資料や、執筆で参考にした書籍などを紹介し、「現代の戯作者」とも呼ばれた井上ひさしが、コトバ遊びやパロディによる笑いをめざした江戸時代の戯作からどのような影響を受けたのか、そして「江戸」という時代・町にどのような思いを込めて、作品を書いたのかに光を当てます。



「不忠臣蔵絵図ノ内第五図 吉良邸周辺図」  
仙台文学館蔵



歴史学研究会編『日本史年表』(岩波書店)  
運筆堂文庫蔵

## ■ 展示関連イベント

### 講演会「井上ひさしの描く〈江戸〉〜『戯作者銘々伝』を中心に」

江戸文化研究者の田中優子氏を迎え、「江戸」という時代の歴史・風俗・文化と、井上作品に描かれた「江戸」とのつながりについてお話しいたします。

講師：田中優子（江戸文化研究者、法政大学総長）  
日時：3月12日（土）13:30～15:00  
会場：仙台文学館講習室 定員：100名（抽選）

※企画展観覧券の半券が必要です

申込  
方法

往復はがき住所・お名前・お電話番号（あればFAXも）・イベント名記入の上、仙台文学館へ（一枚につき一名の申込み）。  
締切2月26日（金）《必着》



### 読書会「井上ひさし作品について語ろう！」

事前に指定のテキストを読んで、それぞれの感想や疑問、意見を自由に述べ合う読書会です。自分だけではわからなかった作品の内容や表現も、いろいろな感想や意見を聞く中で見えてくるかもしれません。お茶を飲みながら、気軽に語り合しましょう。

日時：4月2日（土）13:30～  
会場：仙台文学館講習室 定員：20名（抽選）  
テキスト：『東慶寺花だより』（文春文庫）

※参加費 / 400円（茶菓代）

申込  
方法

往復はがき住所・お名前・お電話番号（あればFAXも）・イベント名記入の上、仙台文学館へ（一枚につき一名の申込み）。  
締切3月23日（水）《必着》

### 講座『『江戸名所図会』の世界』

江戸の地名や当時の暮らしは私たちには縁遠いものに思われ、歴史・時代小説を読むときのハードルになっています。この講座では、千葉正樹氏を講師として迎え、当時の風俗や地理に関する知識を楽しみながら身につけていきます。

講師：千葉正樹（尚絅学院大学総合人間科学部教授）  
日時：2月14日（日）13:30～15:00  
会場：仙台文学館講習室 定員：100名

※企画展観覧券の半券が必要です

申込  
方法

電話・FAXのいずれかで仙台文学館へ（FAXの場合は、イベント名・日時・名前・電話番号を明記してください）。定員になり次第受付終了します。



### 学芸員による展示解説

貴重な肉筆資料の解説とともに、井上ひさし作品の魅力について、学芸員が解説します。

日時：2月11日（木・祝）13:30～  
2月27日（土）13:30～  
3月26日（土）13:30～

◎申込み不要。直接会場へ。※企画展観覧券が必要です

### 展示室劇場（リーディング）

「伊能忠敬先生に叱られて」「伊能栄に聞く」  
（『四千万歩の男 忠敬の生き方』より）

日時：2月28日（日）、3月6日（日）13:30～14:40  
出演：ウィリーささき。  
（日本朗読検定協会認定プロフェッサー）



「恋川春町」（『戯作者銘々伝』より）

日時：3月19日（土）、27日（日）13:30～14:30  
出演：白鳥英一（鳥屋）、瀧原弘子（三角フラスコ）



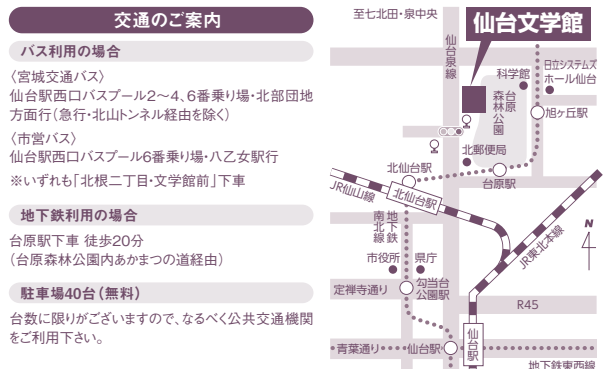
◎上記いずれも

会場：仙台文学館企画展示室 定員：30名

※入場には企画展観覧券が必要です

申込  
方法

電話・FAXのいずれかで仙台文学館へ（FAXの場合は、イベント名・日時・名前・電話番号を明記してください）。定員になり次第受付終了します。



Sendai Literature Museum  
**仙台文学館**

〒981-0902 仙台市青葉区北根2-7-1  
TEL.022-271-3020 FAX.022-271-3044  
http://www.sendai-lit.jp

仙台文学館 ～次回の展覧会～

まど・みちおのうちゅう  
2016年 4月23日（土）～6月26日（日）

※このチラシはリサイクルできます。「雑がみ」として分別してください。